

校庭で遊べる

校庭の改修工事がついに完了しました。3月6日（水）からは外で遊ぶことができるはずだったのですが、残念ながら雨で内遊びとなってしまいました。

この日の朝に、国際理解教室講師のお別れ会を体育館で行いました。代表の6年生は、お礼の言葉を英語と日本語の両方でスピーチしていました。講師のあいさつも、英語と日本語の両方で話していました。フィリピンの暮らしや文化、自然などについて、英語を使って学習してきました。

この会の後、校庭が使えるようになったことを全校に伝えました。各教室では、外遊びについての釜小路を確認していましたが、何のためのルールなのかということを改めて子どもたちに聞いてみました。「けがをしないため」とすぐに返事がかえってきました。よくわかっていて大変うれしいことでした。学校保健委員会でも、けがの予防をテーマにして、各クラスで取り組みを行ってきていました。久しぶりに校庭に出て、いきなりけがをしてしまうことがないように、ルールを守って安全に遊ぶことができるようにと話しました。

翌日はよい天気だったので、校庭でボールを使ったりおにごっこをしたりして、無事に外遊びができました。事前に安全のためのルール確認をしておいたことが生きたのでしょうか、けがをした人はいませんでした。晴れでも気温が上がらず寒い中、金属部分にさわるのは冷たかったのですが、多くの子どもたちが鉄棒やうんていなど、きれいになった新しい遊具で元気よく遊んでいました。



3月6日（水）のロング昼休みに、なかよしタイムでグループの6年生とのお別れ会を行いました。5年生がグループのリーダーとなってレクリエーションを行い、その後に感謝の言葉を伝え合いました。これまで活動を積み重ねてかかわりをつくってきて、みんなで行うレクリエーションはスムーズに楽しく行われていました。5年生が前に出て会をとりしきりっていて、頼もしさが感じられました。6年生が先頭に立って行ってきたことを、引き継いでいるのがわかりました。

